

令和2年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔家庭〕種目〔家庭〕

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [家庭] 種目 [家庭]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では核家族化が進み、家庭内では暮らしに関わる世代間での伝承が少なくなっている。また、家庭生活においては、作ったり直したりするより完成品を買ったり、伝統的な和食を調理して食べることが減ったりするなど、便利さや手軽さを求めるようになっている。一方、各学校の家庭科の授業時間においては、調理実習や裁縫などの実践的・体験的な活動に興味・関心をもって意欲的に取り組んでいる。
- 平成30年度全国学力・学習状況調査によると、朝食を毎日食べていると回答した児童の割合は87.2%（全国84.8%）であった。しかし、朝食の内容は、菓子パンと牛乳だけという簡単なものであったり、手作りではなかったりする場合が多いことが「生活リズムカレンダー」の取組により明らかになっている。また、児童は、日常生活の場で縫い物をしている姿を目にしたり、家族と一緒に食材を買ったりする等の生活経験が少なく、保護者もこうした姿を「見せる」という意識が低くなっている。そのため、生活をよりよくするために、児童が自ら進んで工夫しようとする実践意欲も低くなっている。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 題材のめあてや振り返りの示し方 ② 日本の伝統文化に関する内容の扱い ③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	④ 実践的・体験的な活動につながる工夫 ⑤ 課題を設定するための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑥ 題材や資料等の配列 ⑦ 生活に生かす工夫及び発展的学習に関する工夫
<内容の表現・表記>	⑧ 挿絵、写真等の資料の活用の工夫 ⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑩ 言葉や図を使って考えたり説明したりする学習活動の工夫

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 題材のめあてや振り返りの示し方

- 各節ごとに、見出しの下に「めあて」を示し、自己評価できるようにチェック欄を設けている。
- 振り返りにはチェック欄を設けている。

視点② 日本の伝統文化に関する内容の扱い

- 伝統のマークを付し、コラム的に伝統文化についての内容を掲載している。(5年7か所・6年5か所)
- ごはんとだいず(みそ)に特化した「地域の料理」を1ページに示している。

視点③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の工夫

- 手縫いの手順を見開き2ページに示している。
- ミシンの使い方について、見開き2ページにイラストで説明している。
- 巻末に、「いつも確かめよう」として、調理実習技能と製作実習技能をまとめて掲載している。また、左ききの児童に配慮している。
- 本文に、「いつも確かめよう」があり、技能を確認することができる。(5年11か所、6年3か所)

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 実践的・体験的な活動につながる工夫

- 調理実習の事例を13示している。
- 布を用いた製作例を9示している。
- 安全に関わる記述を21か所、防災に関わる記述を5か所掲載している。
- 「安全に実習しよう」に、2ページにわたって実習中の安全と防災について示している。

視点⑤ 課題を設定するための工夫

- 題材の最初に、家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」で示している。
- 各題材を統一した問題解決の流れ(1 見つめよう、2 計画しよう・実践しよう、3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう)で構成している。
- 題材の扉部分にはイラストや写真とともに、問いかけるための短い文がある。
- 各題材の最初の小題材名を、「～見つめよう」(5題材)、「～考えよう」(5題材)としている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 題材や資料等の配列

- 巻頭に、これまでの内容や家庭科において自分にできることが増える過程を山登りに例えたイラストを掲載し、学習の見通しをもたせている。
- 5年の「ゆでる」調理の事例として、青菜のおひたし、ゆでいも、ゆで野菜サラダの3事例を大きく扱っている。参考例としてゆでたまごがある。
- 住まい方と着方を中心とした夏・冬の暮らし全般をまとめて6年で扱うように題材化している。また、夏・冬の暮らしを対比できるようにそれぞれ同じ題材名、小題材名にしている。
- 6年「朝食から健康な1日の生活を」として、朝食を題材化している。
- 題材数 5年：8題材 6年：7題材
- 衣食住の学習では、衣の領域を33ページ、食の領域を37ページ、住の領域を18ページ設けている。
- 版型A4版、145ページ、約350g ※重さは一の位を四捨五入

視点⑦ 生活に生かす工夫及び発展的学習に関する工夫

- 学んだことを生活に生かせるよう、学期末や長期休業を利用した学習として「生活を変えるチャンス」を計5か所設定している。
- キャリア教育への対応として、「プロに聞く」と題したコラムを、8題材の計11か所に設けている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 挿絵、写真等の資料の活用の工夫

- 折り込みの「栄養素のおもなはたらきと食品の分類」は、食に関するどのページにも開いたまま活用できるように工夫している。
- 学习上参考となるデータを示したグラフや写真などを13掲載している。
- 題材冒頭に、題材で扱う学習内容を示したイラストを掲載している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮したデザインで、挿絵は全体的にくっきりとした輪郭、かつ穏やかな色合いである。
- 新開発の「UD教科書体」を採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 言葉や図を使って考えたり説明したりする学習活動の工夫

- 「やってみよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動を1題材に4～6設けている。
- 「話し合おう」「深めよう」などの活動では、表、記録シート、実験、比較方法、思考ツールなどの例を示している。
- ページ下部に、内容に関する言葉を説明した「言葉」コーナーを13か所設けている。

1 基礎・基本の定着

視点① 題材のめあてや振り返りの示し方

- 各節ごとに、見出しの下に「めあて」を示し、自己評価できるようにチェック欄を設けている。
- めあてと振り返りの両方にチェック欄を設けている。

視点② 日本の伝統文化に関する内容の扱い

- 伝統のマークを付し、伝統文化についての内容を掲載している。(5年7か所・6年5か所)
- 「わたしたちの生活の中にある伝統文化」を見開き2ページに示している。

視点③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の工夫

- 手縫いの手順を見開き2ページに示している。
- ミシンの使い方について、見開き2ページにイラストと写真で説明している。
- 巻末の「利き手はどちら？」で、左ききの児童に配慮している。
- 裏表紙に、野菜や果物のいろいろな切り方や剥き方の写真を掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 実践的・体験的な活動につながる工夫

- 調理実習の事例を13示している。
- 布を用いた製作例を10示している。
- 安全に関わる記述を20か所、「日々の備えコーナー」という防災に関わる記述を5か所掲載している。
- 「安全に実習しよう」で、見開き2ページにわたって実習中の安全と防災について示している。

視点⑤ 課題を設定するための工夫

- 題材の中に、家庭科の見方・考え方を「生活の見方・考え方4つの視点」のキャラクターを付して示している。
- 各題材を統一した問題解決の流れ(1 見つける・気付く、2 わかる・できる、3 生かす・深める)で構成している。
- 題材の扉部分にはイラストや写真とともに、問いかけるための短い文と吹き出しがある。
- 各題材の最初の小題材名を、「なぜ～」(6題材)、「～見つめよう」(2題材)、「～考えよう」(1題材)としている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 題材や資料等の配列

- 巻頭の「家庭科学習の進め方」では、主な学習場面の写真を掲載し、学習の見通しをもたせている。
- 5年の「ゆでる」調理の事例として、青菜のおひたし、ゆでいももの2事例を大きく扱っている。活用例としてゆでたまご、ゆで野菜サラダが取り上げられ、その他の参考として、和食に特化したあえものを3事例扱っている。
- 冬の暮らしについては5年で、夏の暮らしについては6年で扱い、住まい方と着方をそれぞれ別に取り上げて題材化している。
- 6年「できることを増やしてクッキング」の中で、朝食の必要性について扱っている。
- 題材数 5年：11題材 6年：9題材
- 衣食住の学習では、衣の領域を35ページ、食の領域を34ページ、住の領域を18ページ設けている。
- 版型AB版、137ページ、約310g ※重さは一の位を四捨五入

視点⑦ 生活に生かす工夫及び発展的学習に関する工夫

- 学んだことを生活に生かせるよう、学期末や長期休業を利用した学習として「チャレンジコーナー」を計5か所設定するとともに、「レッツトライ 生活の課題と実践」を4ページにわたって掲載している。
- キャリア教育への対応として、「〇〇にかかわる人」と題したコラムを、5題材の計5か所に設けている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 挿絵、写真等の資料の活用の工夫

- 折り込みの「栄養素のおもなはたらきと食品の分類」は、食に関するどのページにも開いたまま活用できるように工夫している。
- 学習上参考となるデータを示したグラフや写真などを12掲載している。
- 題材の導入として、題材で扱う学習内容を示したイラストや写真を掲載している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮したデザインで、挿絵は全体的に淡い輪郭と色調である。
- 新開発の「UD教科書体」を採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 言葉や図を使って考えたり説明したりする学習活動の工夫

- 「やってみよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動を1題材に0～6設けている。
- 「やってみよう」「交流しよう」などの活動では、表、記録シート、実験、比較方法、プレゼン方法などの例を示している。
- ページ下部に、内容に関する言葉を説明した「ひと口メモ」コーナーを、ほぼ全ページに設けている。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「生活をよりよくするために、児童が自ら進んで工夫しようとする実践意欲が低くなっている」ことに対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和2年度使用小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 題材の中に、「生活の見方・考え方4つの視点」をキャラクターの吹き出しで示すことで、児童が家庭科の見方・考え方を意識しながら学習を進めることができるようにしている。
- ・ 各題材を統一した問題解決の流れ（1 見つける・気付く、2 わかる・できる、3 生かす・深める）で構成しており、見通しをもって学習を進めることができるようにしている。
- ・ 学期末や長期休業を利用した学習として「チャレンジコーナー」を5か所設定するとともに、「レットトライ 生活の課題と実践」を4ページにわたって掲載していることは、家庭科で学んだことを生活に生かそうという実践意欲の向上に効果的である。

意見2 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 題材の最初に、家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」に示している。
- ・ 各題材を統一した問題解決の流れ（1 見つめよう、2 計画しよう・実践しよう、3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう）で構成しており、見通しをもって学習を進めることができるようにしている。
- ・ 学期末や長期休業を利用した学習として「生活を変えるチャンス」を5か所設定し、家庭科で学んだことを生活に生かせるようにしている。

令和2年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔体育〕種目〔保健〕

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [体 育] 種目 [保 健]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、全小学校において早寝早起きや朝食の摂取などを促すため、「全校一斉生活リズムカレンダー実施週間」を設定し、児童の基本的な生活習慣の定着を図る取組を推進している。また、「食育月間」を設定するとともに、「食育推進担当者研修」を実施し、平均残食率の低い学校やバランスのよい食事に向けた取組を進んで行っている学校の実践を発表する機会を設定し、取組を全市に広めている。
- 平成30年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、本市の児童の生活習慣の実態として、運動の実施頻度や、朝食の摂取状況、十分な睡眠時間の必要性についての理解は全国平均を上回っているが、睡眠時間には課題が見られる。このことから、健康な生活に向けた知識及び理解が実生活や実社会への行動に結び付いていないことが考えられる。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 単元及び単位時間の目標の示し方 ② 知識及び理解の定着を図る工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を高めるための工夫 ④ 実生活や実社会に関連付けられるような記述や内容の工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量
＜内容の表現・表記＞	⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用 ⑦ 配色や本文の示し方の工夫
＜言語活動の充実＞	⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

3 各教科書の特徴

東京書籍

1 基礎・基本の定着

視点① 単元及び単位時間の目標の示し方

- 各単元の扉に、写真とともに学習内容を示している。
- 各小単元の冒頭に、質問形式で学習課題を示している。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 各単元末に、これまでの学習をチェック形式と記述形式で振り返り、知識及び理解の定着を図る工夫をしている。
- 学習のまとめは、小単元の終わり部分に太字を使って示すとともに、() に書き込む欄を設けている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 運動領域と保健領域のつながりとして、プロ選手の写真とメッセージ等を2例掲載している。
- 3年「けんこうな生活」及び6年「病気の予防」では、学習の始めに「ステップ1」コーナーで自分自身の生活や課題をチェック形式や記述形式で振り返るページを設定している。
- 専門的な立場から助言をするキャラクターを、3・4年では4種類（担任の先生・保健室の先生・栄養教諭・学校医の先生）、5・6年では6種類（担任の先生・保健室の先生・栄養教諭・学校医の先生・警察官・消防隊員）用いている。
- 補足説明は「まめちしき」のコーナーで行っている。

視点④ 実生活や実社会に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 小単元の最後に、学習した内容を広げたり深めたりするための「資料」コーナーを設けている。（3・4年：7と3分の2ページ、5・6年：13と3分の1ページ）
- 5年「心の健康」「けがの防止」では、呼吸法や軽い運動、けがの手当について、1と3分の2ページにわたって実習コーナーを設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量

- 3・4年約150g、5・6年約240g ※一の位を四捨五入
- 判型A4版
- 3・4年7小単元45ページ、5・6年15小単元81ページ
- 1単位時間の学習内容を、4～6ページで構成している。
- 3・4年では、睡眠に関する学習内容を14ページにわたって掲載している。
- 学習の進め方を巻頭の「この教科書の使い方」で示している。
- 課題解決の過程を「学習の課題」「ステップ1～4」で構成している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用

- 4年「体の成長とわたし」では、記述と関連付けた挿絵・写真等の資料を25点掲載している。
- 5・6年では、記述と関連付けたグラフを8点記載している。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- 学習課題部分は、色地に太い黒字で示している。
- 3年「けんこうな生活」での本文は6か所に分けて示している。
- 重要事項を太字で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

- 自分の考え等を記入する欄を3・4年は51か所、5・6年は112か所設けている。

1 基礎・基本の定着**視点① 単元及び単位時間の目標の示し方**

- 各単元の扉に、写真とともに学習内容を示している。
- 各小単元の冒頭に、質問形式で学習課題を示している。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 各単元末に、これまでの学習をチェック形式と記述形式で振り返り、知識及び理解の定着を図る工夫をしている。
- 学習のまとめは、小単元の終わり部分に示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫**視点③ 興味・関心を高めるための工夫**

- 運動領域と保健領域のつながりとして、プロ選手の写真とメッセージ等を3例掲載している。
- 3年「毎日の生活とけんこう」及び6年「病気の予防」では、学習の始めに自分自身の生活や課題をチェック形式や記述形式で振り返るページを設定している。
- 専門的な立場から助言をするキャラクターを、3・4年では5種類（ゴリ先生・保健室の先生・栄養の先生・学校薬剤師・スクールカウンセラー）、5・6年では4種類（ゴリ先生・保健室の先生・校医・スクールカウンセラー）用いている。
- 補足説明はページ下部の「ミニちしき」のコーナーで行っている。

視点④ 実生活や実社会に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 単元の途中と最後に、学習した内容を広げたり深めたりするための「もっと知りたい!」及び「しりょう」コーナーを設けている。（3・4年：7ページ、5・6年：9ページ）
- 5年「心の健康」「けがの防止」では、体ほぐしの運動やけがの手当について、1ページにわたって実習コーナーを設けている。

3 内容の構成・配列・分量**視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量**

- 3・4年約120g、5・6年約150g ※一の位を四捨五入
- 判型AB版
- 3・4年8小単元37ページ、5・6年16小単元57ページ
- 1単位時間の学習内容を、2～4ページで構成している。
- 3・4年では、睡眠に関する学習内容を9ページにわたって掲載している。
- 学習の進め方を巻頭の「この教科書の使い方」で示している。
- 課題解決の過程を「課題をつかもう」「いろいろな活動を通して課題を解決しよう」「活用して深めよう」「まとめよう」「毎日の生活に生かそう」で構成している。

4 内容の表現・表記**視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用**

- 4年「育ちゆく体とわたし」では、記述と関連付けた挿絵・写真等の資料を23点掲載している。
- 5・6年では、記述と関連付けたグラフを7点記載している。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- 学習課題部分は、白地に色字で示している。
- 3年「毎日の生活とけんこう」での本文は6か所に分けて示している。

5 言語活動の充実**視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実**

- 自分の考え等を記入する欄を3・4年は17か所、5・6年は33か所設けている。

1 基礎・基本の定着

視点① 単元及び単位時間の目標の示し方

- 各単元の扉に、挿絵とともに学習内容を示している。
- 各小単元の冒頭に、質問形式で学習課題を示している。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 各単元末に、これまでの学習を記述形式で振り返り、知識及び理解の定着を図る工夫をしている。
- 学習のまとめは、小単元の終わり部分に、黄色の枠と太字を使って示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 運動領域と保健領域のつながりとして、プロ選手の写真とメッセージ等を1例掲載している。
- 3年「毎日の生活とけんこう」及び6年「病気の予防」では、学習の始めに「ふりかえってみよう」コーナーで自分自身の生活や課題をチェック形式や記述形式で振り返るページを設定している。
- 専門的な立場から助言をするキャラクターを、3・4年では2種類（保健室の先生・栄養の先生）、5・6年では2種類（保健室の先生・警察官）用いている。
- 補足説明はページ下部の「つぶやきくん」のコーナーで行っている。

視点④ 実生活や実社会に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 学習した内容を広げたり深めたりするための「もっとくわしく！」及び「もっと知りたい！」コーナーを設けている。（3・4年：3ページ、5・6年：1と2分の1ページ）
- 5年「心の健康」「けがの防止」では、体ほぐしの運動やけがの手当について、1と3分の1ページにわたって実習コーナーを設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量

- 3・4年約140g、5・6年約210g ※一の位を四捨五入
- 判型A4版
- 3・4年8小単元33ページ、5・6年16小単元53ページ
- 1単位時間の学習内容を、2～4ページで構成している。
- 3・4年では、睡眠に関する学習内容を10ページにわたって掲載している。
- 学習の進め方を巻頭の「私たちといっしょに学習してきましょう」でマークを紹介し、示している。
- 課題解決の過程を「ふり返ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」「新しい自分にレベルアップ」で構成している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用

- 4年「体の発育・発達」では、記述と関連付けた挿絵・写真等の資料を30点掲載している。
- 5・6年では、記述と関連付けたグラフを12点記載している。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- 学習課題部分は、白地に太い黒字で示している。
- 3年「毎日の生活とけんこう」での本文は4か所に分けて示している。
- 重要事項を太字で示している。
- 本文を黄色の枠で囲んで示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

- 自分の考え等を記入する欄を3・4年は14か所、5・6年は31か所設けている。

1 基礎・基本の定着

視点① 単元及び単位時間の目標の示し方

- 各単元の扉に、4コマの挿絵とともに学習内容を示している。
- 各小単元の冒頭に、質問形式で学習課題を示している。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 各単元末に、これまでの学習をチェック形式と記述形式で振り返り、知識及び理解の定着を図る工夫をしている。
- 学習のまとめは、小単元の終わり部分に太字を使って示すとともに、単元の終わり部分に（ ）に書き込む欄を設けている。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 運動領域と保健領域のつながりとして、プロ選手の写真とメッセージ等を6例掲載している。
- 3年「けんこうな生活」及び6年「病気の予防」では、学習の始めに「はじめに」コーナーで自身の生活や課題をチェック形式や記述形式で振り返るページを設定している。
- 専門的な立場から助言をするキャラクターを、3・4年では6種類（学校の先生・保健室の先生・学校薬剤師・スクールカウンセラー・栄養の先生・学校医）、5・6年では9種類（学校の先生・スクールカウンセラー・警察官・地域見守り運動の参加者・保健センターの人・スポーツトレーナー・学校医・歯科医師・保健師）用いている。
- 補足説明はページ下部の「まめちしき」のコーナーで行っている。

視点④ 実生活や実社会に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 単元の途中と最後に、学習した内容を広げたり深めたりするための「広げよう深めよう」コーナーを設けている。（3・4年：7ページ、5・6年：14ページ）
- 5年「心の健康」「けがの防止」では、体ほぐしの運動やけがの手当について、1と2分の1ページにわたって実習コーナーを設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量

- 3・4年約130g、5・6年約190g ※一の位を四捨五入
- 判型A4版
- 3・4年8小単元41ページ、5・6年16小単元65ページ
- 1単位時間の学習内容を、2～4ページで構成している。
- 3・4年では、睡眠に関する学習内容を12ページにわたって掲載している。
- 学習の進め方を巻頭の「学習の進め方を知ろう。」で示している。
- 課題解決の過程を「自分の生活を振り返る」「学習課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす・伝える」で構成している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用

- 4年「体の発育と健康」では、記述と関連付けた挿絵・写真等の資料を33点掲載している。
- 5・6年では、記述と関連付けたグラフを18点記載している。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- 学習課題部分は、白地に太い黒字で示している。
- 3年「けんこうな生活」での本文は7か所に分けて示している。
- 重要事項を太字で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

- 自分の考え等を記入する欄を3・4年は24か所、5・6年は57か所設けている。

1 基礎・基本の定着

視点① 単元及び単位時間の目標の示し方

- 各単元の扉に、写真とともに学習内容を示している。
- 各小単元の冒頭に、質問形式で学習課題を示している。

視点② 知識及び理解の定着を図る工夫

- 各単元末に、これまでの学習をチェック形式と記述形式で振り返り、知識及び理解の定着を図る工夫をしている。
- 学習のまとめは、小単元の終わり部分に示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 興味・関心を高めるための工夫

- 運動領域と保健領域のつながりとして、プロ選手の写真を掲載している。
- 3年「健康な生活」及び6年「病気の予防」では、学習の始めに「つかむ」コーナーで自分自身の生活や課題をチェック形式や記述形式で振り返るページを設定している。
- 専門的な立場から助言をするキャラクターを、3・4年では5種類（担任の先生・保健室の先生・学校医・栄養の先生・学校薬剤師）、5・6年では8種類（担任の先生・保健室の先生・スクールカウンセラー・学校医・消防団員・警察官・救急救命士・学校歯科医）用いている。
- 補足説明はページ下部の「本」のマークで行っている。

視点④ 実生活や実社会に関連付けられるような記述や内容の工夫

- 単元の途中と最後に、学習した内容を広げたり深めたりするための「もっと知りたい・調べたい」コーナーを設けている。（3・4年：10ページ、5・6年：10ページ）
- 5年「心の健康」「けがの防止」では、体ほぐしの運動やけがの手当について、1と3分の2ページにわたって実習コーナーを設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元及び単位時間の構成や配列・分量

- 3・4年約140g、5・6年約200g ※一の位を四捨五入
- 判型A4版
- 3・4年8小単元37ページ、5・6年15小単元57ページ
- 1単位時間の学習内容を、2～6ページで構成している。
- 3・4年では、睡眠に関する学習内容を8ページにわたって掲載している。
- 学習の進め方を巻頭の「楽しく学ぼう！保健の学習」で示している。
- 課題解決の過程を「ここで学ぶこと」「つかむ」「考える・調べる」「本文」「まとめる・深める」で構成している。

4 内容の表現・表記

視点⑥ 記述と関連付けられた挿絵・写真・グラフ等の活用

- 4年「体の発育・発達」では、記述と関連付けた挿絵・写真等の資料を32点掲載している。
- 5・6年では、記述と関連付けたグラフを6点記載している。

視点⑦ 配色や本文の示し方の工夫

- 学習課題部分は、薄黄地に黒字で示している。
- 3年「健康な生活」での本文は5か所に分けて示している。
- 重要事項を太字で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 自分の考えを書いたり話し合ったりする活動の充実

- 自分の考え等を記入する欄を3・4年は25か所、5・6年は39か所設けている。

4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「睡眠時間には課題が見られる。」「健康な生活に向けた知識及び理解が実生活や実社会への行動に結び付いていないこと」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和2年度使用小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

意見1 光文書院の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 単元の途中と最後に、学習した内容を広げたり深めたりするための「広げよう深めよう」コーナーを設けている。(3・4年：7ページ、5・6年：14ページ)
- ・ 3・4年では、睡眠に関する学習内容を12ページにわたって掲載している。その中で、「スマートフォンやタブレットの使い方と生活のリズム」を1ページ掲載し、児童が自らの生活を見直すことができるようにしている。
- ・ 自分の考え等を記入する欄を3・4年は24か所、5・6年は57か所設けており、言語活動を充実させるために効果的である。

意見2 学研教育みらいの教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 単元の途中と最後に、学習した内容を広げたり深めたりするための「もっと知りたい・調べたい」コーナーを設けている。(3・4年：10ページ、5・6年：10ページ)
- ・ 3・4年では、睡眠に関する学習内容を8ページにわたって掲載している。その中の、「はってん」コーナーは、睡眠の大切さについて示している。
- ・ 自分の考え等を記入する欄を3・4年は25か所、5・6年は39か所設けており、言語活動を充実させるために効果的である。